

目次

警戒レベルを用いた避難情報…… 1	地震対策について…… 7
●警戒レベルについて	●地震発生時の時間経過別行動マニュアル
防災気象情報…… 2	●屋内にいた場合
●特別警報について	●屋外にいた場合
●キキクル（危険度分布について）	避難場所・施設一覧…… 8
●雨の強さと降り方	●避難場所一覧
●風の強さと吹き方	●防災豆知識
●台風	●災害時におけるヘリコプター発着予定地
防災情報の伝達と入手…… 4	●その他の施設一覧
●防災情報の伝達	非常持ち出し品および備蓄品…… 10
●防災情報の入手	●非常持ち出し品
洪水・浸水害について…… 5	●備蓄品
●氾濫の種類	●ローリングストックについて
●河川の危険水位と洪水予報	紀の川市洪水土砂災害ハザードマップ全体索引図…… 11
●避難行動のポイント、危険な場所	洪水・土砂災害ハザードマップ…… 12
●記録的短時間大雨情報について	ため池の役割と構造…… 38
土砂災害について…… 6	●ため池の役割
●土砂災害の種類	●ため池の堤体の構造
●土砂災害の警戒区域	紀の川市ため池ハザードマップ全体索引図…… 39
●避難行動のポイント	紀の川市ため池一覧表…… 40
●土砂災害警戒情報について	ため池ハザードマップ…… 42
	わが家の「緊急・救急情報」防災メモ…… 裏面
	災害用伝言ダイヤル「171」

避難行動要支援者のために

お年寄りや乳幼児、または障害のある方など、災害時は様々なハンディキャップを持った人たちがたくさんいます。地域が一丸となって要配慮者を守るための対策を心がけましょう。

高齢者や、寝たきりの方のために

- ・緊急時は背負って安全な場所に。
- ・不安にさせないように声をかける。

目の不自由な方のために

- ・災害時には、声をかけて情報を伝えましょう。
- ・誘導する場合は、杖を持ったほうの手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、避難を誘導しましょう。

車イスを利用されている方のために

- ・階段を使って移動する場合は必ず2人以上で行い、上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動しましょう。
- ・介護者が1人の場合は、ひもなどを利用して背負って避難しましょう。

耳の不自由な方のために

- ・話すときは、口の動きをはっきりと相手にわかりやすいように。
- ・手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝えましょう。



自助…自分の力で、自分の身を災害から守る。
共助…近隣や地域の人々が協力する。
被災者になったとき大事なものは、「自助」と「共助」、それらを支える「事前の備え」です。